

## 【小施策評価(平成29年度実績評価)】

### 小施策の総合計画における位置付け

基本目標	2	盛岡の魅力あふれるまちづくり	小施策 主管課等	スポーツ推進課	
施策	13	スポーツの推進	評価 責任者	山本 英朝	内線 6400
小施策	13-4	プロスポーツ等との連携	評価 シート 作成者	吉田 金一	内線 6401

### 小施策の概要

現状と課題(総合計画実施計画から転記)	⇒	取組の方向性(総合計画実施計画から転記)
本市をホームタウンとするプロスポーツのチームの活躍は、まちの活性化、スポーツ人口の拡大など、さまざまな効果が期待できるため、市民の関心を高めるさまざまな施策を講じる必要がある。		市民のスポーツへの関心を高めるとともに、スポーツを通じた地域活性化を目指して、プロやプロを目指すチームとの連携を図る。
対象(誰(何)を対象として行うのか)	⇒	意図(対象をどのようにしたいのか)
市民、プロスポーツ団体等		市民のスポーツへの関心を高める。

### 小施策の成果指標の達成状況・評価(平成29年度実績)

実績値の推移				実績の評価		今後の方向性(平成30年度以降)
指標①	単位	目指す方向	成果点	⇒	成果の要因分析	
プロチーム等のチーム会員数	人	↗				評価を踏まえた取組の方向性 <ul style="list-style-type: none"> <li>★…30年度着手済または着手予定</li> <li>☆…31年度以降の着手を検討</li> </ul>
当初値(H25)	2,177	H31目標値	14,000	H36目標値	24,000	
			・プロスポーツチームが自立した運営を行うことができるよう支援した。	⇒	・試合会場や練習施設の優先利用や、施設使用料の軽減を行ったこと。	★ 練習環境の確保・支援 ★ ホームゲームの開催支援 ★ 広報活動による支援
			・J3、Bリーグともに会員数が減少している。	⇒	・成績が伸び悩んだことによる応援意欲の低下。	